

市ボラ連 関連ニュース



○市ボランティア連絡協議会 「第6回 まなびの場」
 日時：令和5年12月10日（日）13:30～16:00
 会場：名古屋市総合社会福祉会館7階（地下鉄名城線「黒川」駅から南へ約300m）
 内容：第1部 講演 災害について（語り部による体験談など）
 第2部 中村区の実践報告
 皆さまお誘いあわせの上、ぜひご参加ください！



新しい出会いとなつかしい再会と・・・

現在私は手話サークルたんぽぽ、点訳ポチの会、名古屋みどり災害ボランティアネットワークの三団体でお世話になっております。
 10代から90代まで、幅広い年代の方たちと活動をしています。若い人たちから元気をもらい、人生の先輩方の年齢を感じさせないパワーに驚かされています。皆さんからいろいろなことを学び、貴重な経験をさせていただいています。
 今年の4月から通い始めた手話講座で、約40年ぶりの再会がありました。結婚前に働いていた時の同僚。今は手話講座の講師。たんぽぽで手話を学んでいて良かった！手話が繋いでくれました。
 仲間恵まれ、素敵な時間を共有し、ボランティア活動を楽しんでいます。まだまだチャレンジしたいこともたくさんあります。素晴らしい仲間と一緒に何歳になっても輝き続けたいです。
 （宮良明美さん）



この夏の暑かったこと。32℃、34℃は当たり前、9月になってもとても“残暑”とは言えない。

彼岸花を見つけた。公園のそこそこに小さく群れて咲いている。すっかり暑さに気をとられていたけれど、もうお彼岸。昼間の日差しはまだ強いけれど、朝の風を涼しく感じる。うらめしく空を見上げると、なんと！うろこ雲。澄んだ空高く一面のうろこ雲。そして今宵は「仲秋の名月」。季節は確かな歩みで巡っているのです。ところで収まったかのように思えたコロナも8波、9波となお続く。コンサートでクラスター発生。当日になって突然の選手交代。学校単位の大会キャンセル。コロナとインフルエンザのWパンチの幼稚園。

でもね、もう戻りませんよ、あの頃に。この3年間で私たち学びました。さまざまな対策。今では新たなワクチン、治療薬も。去年のボラフェスでは「私たち耐えましたね」「負けませんでしたね」「乗り越えましたね」・・・口々に励ましの声を掛け合った。

楽しみな、楽しみな「ボラフェス」ピニャータで復活。盛大に元気いっぱい開幕で～す！
 （浅田千佐子さん）

ボラネットみどり かわら版 57号

2023. 10. 16 発行：ボラネットみどり

来年の2月には久しぶりに緑区民の皆さまに向けて「ボランティアフェスティバルinみどり」が開催できそうです。ボラフェスのテーマも「つなげよう！ひろげよう！“ボラネットみどりの輪”」に決まりました。3年前に実施できなかった企画「ピニャータ*で遊ぼう！」にも再チャレンジします。開催まであと4か月あまりとなりましたが、会員の皆さまのご協力をお願いします。

みんなでボラフェスを盛り上げ、成功させましょう！



ボラフェスの
チラシの図案や
アイデアなど
大募集中です！

*ピニャータはメキシコや中・南米の国の子どものお祭りに使われる、中にお菓子やおもちゃを詰めた紙製のくす玉人形です



2019年度のチラシ表紙

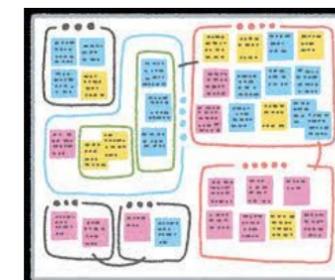
今後の事業予定



- スキルアップ研修会②「在宅・ボランティア活動時における急変時対応」
 日時：令和5年11月13日（月）午前10:30～12:00
 会場：緑区在宅サービスセンター研修室
 内容：大切な家族や仲間を守るため、在宅・ボランティア活動時に「いつもと違う？何かがおかしい？」に気づけ、急変時対応を行うスキルをレクチャーしていただきます
 ゲスト講師：林 和弥氏（藤田医科大学病院 病院機能管理・JCI対策室 看護主任）

- 第18回ボランティアフェスティバルinみどり
 開催日時：令和6年2月17日（土）午前10時～午後3時
 会場：徳重地区会館 体育室（ユメリア徳重4F）
 ギャラリーパネル展示は2月9日（金）～16日（金）まで

来場者にアピールする魅力あるパネルの作成や作品展示などご協力宜しくをお願いします。



みどりおもちゃ図書館に協力

～メルちゃんの衣装提供、ありがとうございました！～

前はさかなつりの魚をたくさん作っていただきましたが、おもちゃ図書館から「利用者から寄贈されたお人形“メルちゃん”の着せ替え衣装を作ってください」との呼びかけに、今回もたくさんの方が協力してくださいました。

ネット検索で衣装の型紙をゲット！家にあった端切れなどでかわいいワンピースや小物などを作ってボラネットみどりの例会日に持ち寄りました。

お人形で楽しそうに遊ぶ子どもたちの笑顔が目につかびます！



お洋服が増えて、うれしいなあ



音訳ボランティア入門講座を開催

5年ぶりに自主講座「音訳ボランティア入門講座」を開催しました！

多くの方に知ってもらおうと「ボラねっとなごや」(市社協ボランティアセンター運営のサイト)やInstagram、Facebookなどを駆使して情報を拡散。講座共催の緑社協の広報誌「みどりのふくし」にも記事を掲載していただいたり、在宅サービスセンターのボランティアルーム入口に置かれたラックはもちろんのこと、区役所、図書館などの各公共施設、コミセンなどにもチラシを置かせていただきました。

置いた場所によっては、他のチラシに埋もれて隠れてしまっていたり、いつの間にか一枚もない(撤去された?)ところがあったりと周知の難しさを痛感しました。

それでも苦労のかいあってか、10月4日から始まった5回の講座は大勢の方に受講していただいています。新会員の加入にも期待しています！

(音訳ボランティアみどり)



スキルアップ研修会①を開催

9月11日(月)開催 講師：稲吉由香氏(おさがり交換会わらしべ代表)

昨年度のタブレットを使った「はじめてのZOOM講座」に続いて、今年度最初のスキルアップ研修会は「はじめてのInstagram教室」として、皆さんがお持ちのスマートフォンを使って、Instagramのアプリのインストール、写真やプロフィールなどの初期設定、投稿までの一連の作業を体験しました。ただ、手持ちのスマートフォンは一人ひとり機種や状況が違い(中には買い替えてまだ1週間という方も)時間内に設定までに至らなかった方もいらっしゃいました。

最後に、Instagramを利用する上でのリスク対策についてお話を伺いました。プライバシー侵害、サイバー攻撃、デジタル中毒、著作権侵害、偽情報・誤情報などさまざまなリスクもあることを理解し、気づかないまま、知らないまま使うことのないようにしたいです。

「楽しく使う、正しく使う リアルでもバーチャルでも丁寧なコミュニケーション画面の向こうには人がいることを忘れない」を皆で確認して講座は終了しました。

参加者の感想

- インスタの使い方が少しわかりました。活用するところまではまだまだかも。
- 初めてのことで、言葉一つひとつが理解できず戸惑うことばかりでした。スマホの基本操作を覚えなければいけないとつくづく思いました。フォローをたくさんしてもらい、アカウント作成ができました。
- Instagramのアカウントはありましたが、自分で投稿したことがなかったので、今日投稿の仕方が聞いて良かったです。ボランティアの会のInstagramを作るときの参考になりました。
- Instagramの大枠はわかりましたが、ID、パスワードすべて忘れてしまいそうで大変むずかしかったです。使う、使わないは別として、子どもたちが使っている意味・意義が分かった気がします。
- 研修会后、息子にももう少し詳しく使い方を教えてもらって、可愛い孫の写真などたくさんフォローできました。



スキルアップ研修会でやりたいこと、取り上げてほしいテーマや内容、ご意見などありましたらぜひお聞かせください！



にじーな